

## 研修レポート

### 名古屋第一赤十字病院

4週間、地域医療研修としてお世話になりました。主に、総合診療科の初診外来を担当いたしました。問診や身体所見から、患者さんの困っていること、問題点を見極め、上級医の先生方と相談しながら検査や治療行っていました。普段の自病院の研修では、救急の患者さんであれば診察、検査、治療などを行いますが、入院や経過フォローは専門科の先生方が中心となります。また、内科の初診では、診察ののちに適切な専門科への振り分けを行っています。こちらの研修では、入院となれば自分も担当させていただき、外来で経過観察となった方の再診もすることができました。経過まで自分でも診るという点で、新鮮であり、貴重な経験となりました。時節柄、健診異常の方を診る機会も多く、症状がない患者さんの診察のポイントや検査の方針の立て方など、大変勉強になりました。

初診外来のほかに、作手診療所の見学や訪問診療にも伺いました。こちらも普段の研修では経験できないことで、貴重な時間でした。特に、作手地区はCOVID19が流行した後だったため、へき地での感染症対策や流行時の対応策などお話しいただきました。医療資源が限られており、高齢者の多い地域で、一度感染が広まるといかに大変かといったところがよくわかりました。訪問診療では、患者との関係だけでなく、患者家族のケアも大切にされているのが印象的でした。

臨床の場以外にも、Up to date 勉強会やEBM勉強会などでたくさんの学びがありました。特にEBM勉強会では論文の読み方、臨床への活かし方を教えていただき、PECOや結果の捉え方など、いままでなんとなく読んでいた部分が言語化され、とても勉強になりました。勉強会では発表当番もあり、自分が診た症例で学んだことや、興味のあることを勉強し直すいい機会になりました。

毎日の振り返りも含めて、先生方が丁寧に指導してくださり、学びの多い4週間でした。研修に協力して下さった全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。